

## 健康面・お手入れについて

	質問内容	回答
1	冬に水分を多く摂取する方法はありますか。	食事を缶詰などのウェットタイプに代えるのが一番手っ取り早い方法です。あとはお家のあちこちにいろんな形状の食器に水を入れて置いておくと、通りがかりに飲むことが多くなります。市販の、水が流れるタイプの電動式の食器も効果があります。水道からの直の水より、汲み置きを好む場合もありますので、色々試して下さい。
2	療養食を食べることは猫にとってストレスになりますか。	良く食べてくれていれば、同じものをあげ続けてもストレスにはなりません。嫌がっている様なら、ふやかしてみたり、電子レンジで数秒温めて少し香りを出したりしてみてもいいかもしれません。トッピングは処方食のバランスが崩れますのでやめて下さい。 同じ効果の処方食で違う販売会社のものに定期的に代えたり、ドライタイプとウェットタイプ交互にするのはいかがでしょうか？この場合は動物病院でご相談して下さい。
3	一軒家で日差しが全く当たらず、日向ぼっこができない状況は猫にとってストレスになりますか。	よく耳にするのは皮膚の物質が、日光があたることでビタミンDに変化し毛づくろいをし、摂取するというのですが、あまり気にしなくて良いようです。総合栄養食にはビタミンDは含まれていますし、食事でも充分のようです。ご心配な場合は動物病院で検査をして下さい。 あとは温度管理です。寒すぎるのはストレスになりますので、床から直に暖を取れるペット用のヒーターなどを用意して下さい。人用は低温火傷の原因にもなるので使わない方が良くも知れません。
4	ブラッシング、爪切り等のボディケアを嫌がりあまりできません。「猫がリラックスしている間に少しずつやると良い」と本で読みましたが、リラックスするのは小屋の中なので手が出せません。良い方法があれば教えて下さい。	無理矢理引きずり出すのはよくありませんし、興奮してしまうでしょう。飼い主さんがゆっくりくつろぐスペースに猫も安心できるスペースを作ります。市販の屋根のない猫用ベッドや、ひざ掛けなどでドーナツ形にしておくだけでもそこに寝るようになります。飼い主さんのよしやるぞ！という意気込みが猫に伝わると怖がって逃げますので、道具は手元に用意しておいて、お互いにリラックスしている時に短時間でいっぺんにやらないように気を付けて行って下さい。 どうしてもやる必要がある時は、厚手のバスタオルやひざ掛けで人間の赤ちゃんの「おくるみ」の様に包んであげると、引っ掻きなどのケガをしなくて済みます。毛の長さにもよりますが短毛で、ブラシを嫌がるようでしたら、熱すぎないように水気をよく絞り蒸しタオルを作って毛並みに沿って撫でるように拭くだけでも抜け毛が取れます。 慣らすには下記のポイント1、2を参考にして下さい。
5	背中が背骨にそって細長く抜けてしまうのはなぜでしょうか。	何らかの病気になっているか、ストレスで自分で舐めすぎてはげてしまうことがあります。痩せすぎて、背骨が浮いてくるとそう見えることがあります。動物病院での診察をお勧めします。
6	キャットフードを選べるほど置いてあるのはどこですか。	大きなホームセンターに多く置いてありますし、インターネットで買い物をするとも色々見つかります。

**ポイント1: 触られるのが嫌いにならないように子猫の頃から慣らすと猫も飼い主さんもお互いに楽です。**

飼い主さんが緊張せずに楽しく行ってください。猫が嫌がるようであれば続けしないでください。成猫でも効果はありますが飼い主さんとの信頼関係が出来ている猫の方が早く受け入れます。

抱っこをする→おいしい猫用の食べ物を一口あげる→食べ終わったらすぐに放してあげる

抱っこをする→おいしい猫用の食べ物を一口あげる→足先を触る→おいしい猫用の食べ物を一口あげる→すぐに放してあげる

抱っこをする→おいしい猫用の食べ物を一口あげる→足先を触る→おいしい猫用の食べ物を一口あげる→爪をギュッと出してみる→おいしい猫用の食べ物をあげる→食べ終わったらすぐに放してあげる

**ポイント2: 信頼関係が出来ていない猫は、まずは猫がそばに来てくれる努力からです。**

人が座ってリラックスした状態で、周りにその猫が好む食べ物やマタタビを置きます。最初は数メートル先から少しずつ距離を縮めます。絶対に見つめたり、触ろうとしないようにして下さい。1メートル位の位置でも猫が慌てずに食べているようでしたら、声を優しく掛けます。足元に置いても緊張していないようであれば少しずつ触れて行きます。